

タカギ 混合栓施工説明書

takagi

蛇口一体型浄水器 みず工房クリーン 壁出し水栓・単水栓・取替スパウト

- 施工前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した「安全上の注意」は状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、取扱説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。
- 給排水管工事は専門業者でお願い致します。

安全上の注意

製品を安全に正しくお使いいただく前に

施工前に「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく設置してください。

絵表示について 製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

△警告 この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定されている内容を示しています。

△注意 この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定されている内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

○記号 〇記号は、してはいけない「禁止」内容を示しています。

●記号 ●記号は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。

△警告

・本品は屋内設置用です。屋外では使用しないでください。・修理技術者以外の人は、水栓本体内部を分解しないでください。

・必ず製品に付属の部品を使用して施工してください。・この説明書に記載された項目以外は分解・改造しないでください。

やけどをするおそれがあります

湯水を逆に配管しないでください。
※単水栓は水配管のみです。

他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯を使用中に湯温が急上昇する事があります。

給湯に蒸気を使用しないでください。
湯温が急上昇する事があります。

水栓に向かって左側には直接触れないようにしてください。給湯側のため、高温になっている場合があります。

あつひ！

やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

水抜き栓(寒冷地仕様のみ)は水抜き以外の目的で開けないでください。
また、湯側の水抜きをする場合は、事前に湯側で吐水して、高温の湯が出ないことを確認してから水抜きを行ってください。

あつひ！

△注意

水漏れで、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

故障の原因になります

給湯温度は60°C以下でご使用ください。60°Cを超える高温でご使用になるとカートリッジが破損し、浄水器としての性能を維持できなくなる場合があります。

新設の場合、水栓を取り付ける前に、給水管内のゴミなどを完全に洗い流してください。

60°C以下

△注意

水漏れで、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

強い力や衝撃を与えないでください。

高水圧地区(設置条件参照)では減圧弁を設置してください。

各接続部が確実に固定されていないと水栓本体が傾いたり、水漏れが発生する可能性があります。

しっかり固定！

施工完了後は、水栓本体及び各接続部から水漏れのないことを確認してください。

冬期に施工完了し、お客様にお引き渡しするまでの間、凍結による破損が予想されますので、水抜きなどの予防処置を行ってください。(水栓に水抜き構造のあるものは水を抜いておいてください)

冬期に施工完了し、お客様にお引き渡しするまでの間、凍結による破損が予想されますので、水抜きなどの予防処置を行ってください。(水栓に水抜き構造のあるものは水を抜いておいてください)

(水栓に水抜き構造のあるものは水を抜いておいてください)

1-3ザルボ内の清掃をする

ザルボ内のゴミを歯ブラシなどで取り除いてください。

漏水の原因になります

△注意 ザルボ内にシールテープや接着剤が残っていると、次に器具を取り付けた場合、漏水や故障のおそれがあります。必ず掃除を行ってください。

2.器具の取り付け [本体部]

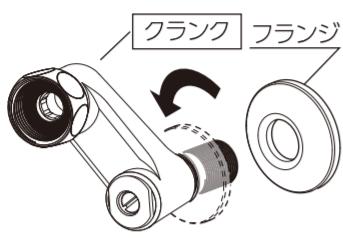
△注意

新設の場合は、配管内にチリ、ゴミなどが混入しています。器具取り付け前に数十秒間の捨て水を行い(水浸しに注意)、その後止水栓を閉めて水が出ないことを確認してください。(止水栓の閉め方は「1-1水道配管の止水栓を止める」を参照してください)

壁出し水栓

2-1新しい水栓を用意する

新しい水栓本体についているクランクを本体部からはずします。フランジは図のように奥までまわし入れてください。



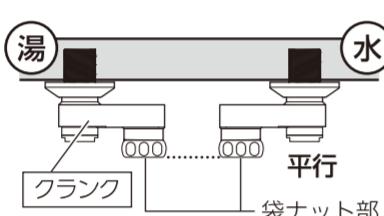
2-2クランクの回転数を確認する

クランクを水側・湯側に分けてザルボ(取付ネジ)にクランクを取り付け、何回転で止まるか確認します。※クランク取り付け時、クランクを微調整のために反対に回すことがないようにするためです。反対に回すとシールテープが切れ、水漏れの原因となります。

MEMO	湯側	回転	水側	回転

△注意

水漏れ防止のため、袋ナット部が壁面に対して平行かつ水平になるようにします。



2-3クランクを取りはずし、シールテープを巻く

しっかりとクランクを握り、シールテープを引っぱり気味で矢印の方向に7~8回巻き、そのまま引きちぎってください。



単水栓

2-1新しい単水栓を用意する

図のようにフランジを奥までまわし入れてください。



2-2単水栓の回転数を確認する

ザルボ(取付ネジ)に単水栓を取り付け、何回転で止まるか確認します。※単水栓取り付け時、単水栓を微調整のために反対に回すことがないようにするためです。反対に回すとシールテープが切れ、水漏れの原因となります。

MEMO	回転

△注意

しっかりと単水栓を握り、シールテープを引っぱり気味で矢印の方向に7~8回巻き、そのまま引きちぎってください。



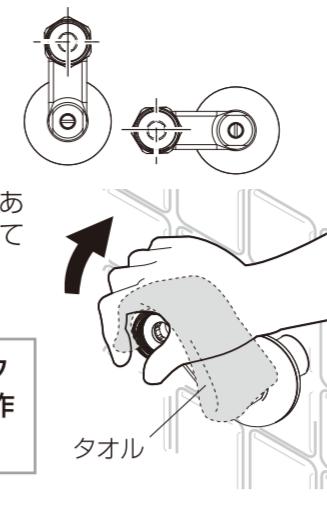
漏水の原因になります

シールテープを逆に巻くと、ザルボに取り付けた際にゆるむことがありますので図通りに巻いてください。

壁出し水栓

2-4クランクを仮固定位置に固定する

(クランクの仮固定位置)



クランクにタオルなどをあてがい、図のように回していきます。(壁に向かって時計回り)

2-2で確認したクランクの回転数を参考にして作業を進めてください。

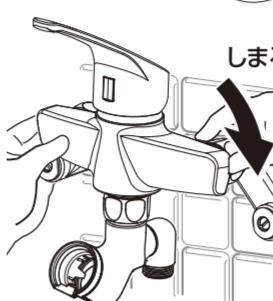


2-5本体部を取り付ける

①クランクのナット部分にパッキンがあることを確認します。(湯側・水側同様に)



②手でナットを締め込み本体部を仮止めします。仮止めした後、本体部がまっすぐになるようにしっかりと固定し、ナットを締め込みます。



△注意

漏水の原因になります

ナットを締め込む際、クランクをゆるめる方向に回さないよう注意してください。壁に向かって、時計回りに回転させながら本体部を水平にしてください。

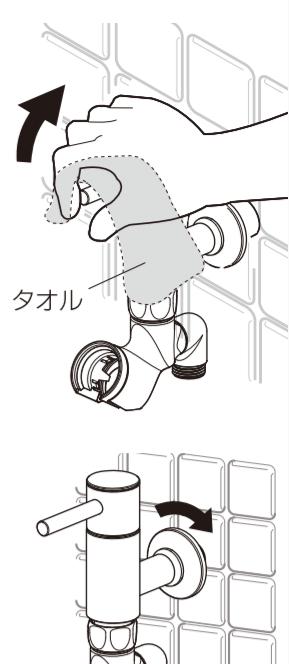
③フランジをまわして、壁につき当てます。



単水栓

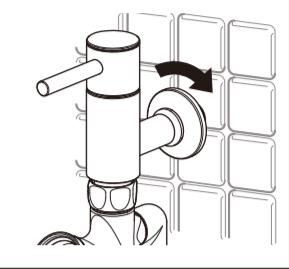
2-4単水栓を固定する

①本体部にタオルなどをあてがい、図のように回して入れます。(壁に向かって時計回り)本体部がまっすぐになるよう固定します。



2-2で確認した新しい単水栓の回転数を参考にして作業を進めてください。

②フランジをまわして、壁につき当てます。



漏水の原因になります

クランクや単水栓は絶対に逆方向へゆるめないでください。もしもゆるめてしまった場合は、「2-3クランク(または単水栓)を取りはずし、シールテープを巻く」からやり直してください。

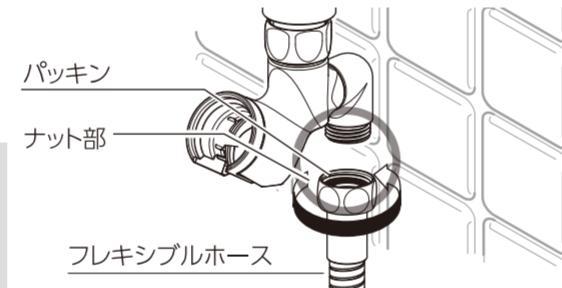
けがをするおそれがあります
水栓は重いため、落下などに注意して作業を行ってください。

3.器具の取り付け [フレキシブルホース・浄水器部]

3-1フレキシブルホースをスパウト部分に取り付ける

フレキシブルホースのナット部を回転させて締めつけます。
※特に工具は必要としません。

※ナット部のパッキンが脱落していないか確認ください。



破損・漏水の原因になります

パッキンが破損するおそれがあります。

ナット部を過剰に締め込まないでください。

※目安として16N·mを上限として施工してください。

△注意

ホースを固定して浄水器部を回転させて取り付けてください。

※ホースを回転させて取り付けるとホースがねじれ、故障の原因となります。

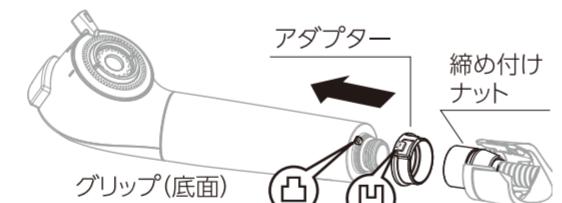
3-2フレキシブルホースに浄水器を取り付ける

浄水器部にアダプターを装着し、締め付けナットで固定します。

※水漏れの原因になります。

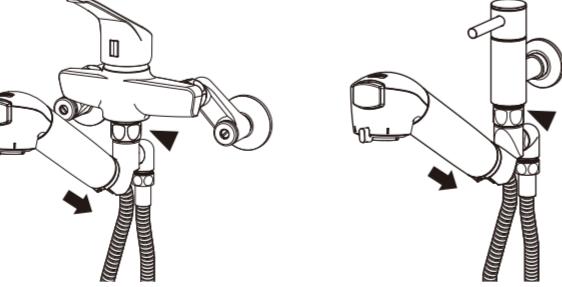
浄水器部と締め付けナットはしっかりと締め込んでください。

※アダプターの紛失・組み忘れに注意してください。



3-3浄水器をスパウト部分に取り付ける

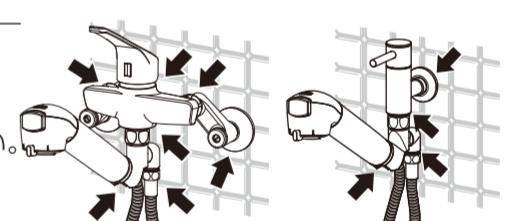
図の▲部分は自由に回転しますのでシンクにあわせて調整してください。



4.取り付けが終わったら

4-1水道配管の止水栓を開ける

レバーハンドルが閉じていることを確認してから、配管部の止水栓を開けます。その後、レバーハンドルを吐水状態にし、正常に通水することを確認してください。



4-2各接続部の水漏れがないかをチェックする

図の箇所を点検してください。

一昼夜おいて、各接続部に漏水による水のじみが無いかを確認してください。

漏水している場合は、その箇所を各手順通りに、再度作業を行ってください。

壁出し水栓

4-3適温・適量調節を行う

①レバーハンドルの湯水表示をセンターに合わせて吐水側いっぱいまで上げます。



②流量調整ネジをドライバーなどで開放、または絞って適温・適量に合わせます。(水側・湯側同様)



5.取替スパウトの取り付け

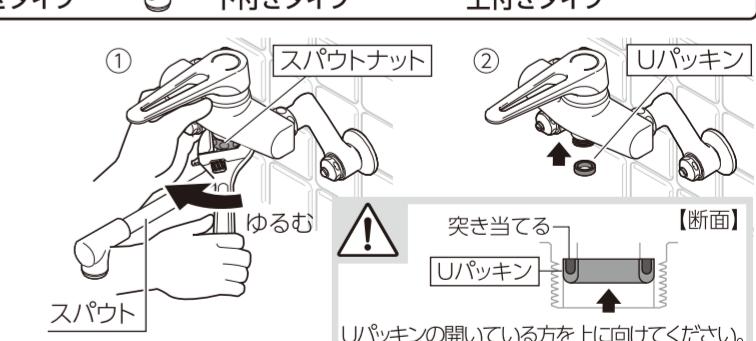
※取り付け部のネジサイズは、W26山20専用です。



①現在使用している蛇口のスパウトナットを緩めて、スパウトを引き抜きます。

※既存の古いパッキンを取り除き、歯ブラシなどで掃除してください。

(既存の古いパッキンは使用しません)



②新しいスパウトのUパッキンを本体に入れます。

※グリスを塗布しているため、ゴミを付着させないよう、ご注意ください。

③取替スパウトを水栓本体に差し込み、袋ナットを締め込みます。

この後の施工は「3.器具の取り付け [フレキシブルホース・浄水器部]」へお進みください。

免責事項

以下の事項にて発生した損失や損害に対して株式会社タカギは一切責任を負うものではありませんことをあらかじめご了承ください。
ご利用はお客様の責任で行っていただきますようお願いいたします。

1. 施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合。
2. 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)など製品本体以外の不具合に起因する製品の不具合。
3. 電気・給水などの供給で指定された以外の環境に起因する故障および損傷。
4. 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かびなどの現象。
5. 水道に関する国の基準(水道法)に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことによる不具合。

■アフターサービスについて

破損した部分の交換や設置、使用上の不明な点など、本商品に関する事柄は、当社までお問い合わせください。

■商品に関するお問い合わせは

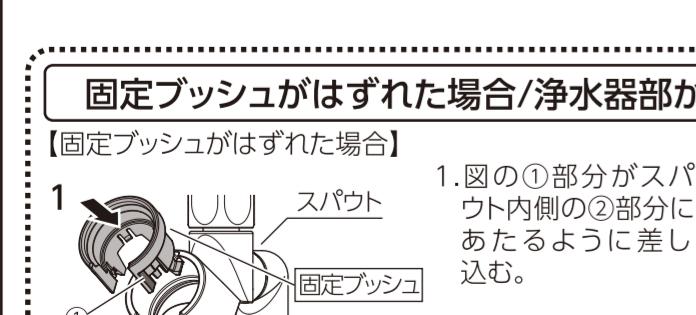
タカギ・ミニユーニットセンター ミニユーニット

電話番号 0120-328-413 24時間電話受付(年中無休)

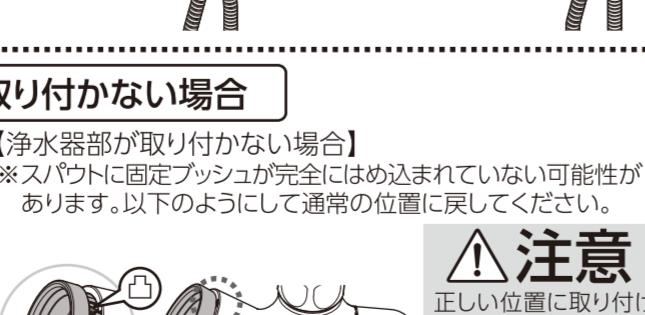
株式会社 タカギ

<http://www.takagi.co.jp/>

【固定ブッシュがはずれた場合】



1. 図の①部分がスパウト内側の②部分にあたるように差し込みます。



2. 固定ブッシュの凸(A)をスパウトの凹(B)に入れながら、押し込みます。



※最後まで押し込み、その後固定ブッシュを引っ張ってもはずれないことを確認してください。

固定ブッシュを指でつまみ内側に変形させながら、固定ブッシュとスパウトの段差がなくなる所まで矢印方向へ回転させます。